



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日
東

上場会社名 株式会社一蔵 上場取引所
 コード番号 6186 URL <https://www.ichikura.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 義彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理本部長 (氏名) 数見 康浩 (TEL) 03-5297-5151 (代表)
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	14,312	9.7	418	425.4	412	140.2	376	187.7
2022年3月期第3四半期	13,052	30.2	79	—	171	—	130	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 565百万円(248.9%) 2022年3月期第3四半期 162百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	68.24	—
2022年3月期第3四半期	23.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	18,688	3,892	20.8	706.03
2022年3月期	18,196	3,404	18.7	617.46

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,892百万円 2022年3月期 3,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期(予想)				21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,676	6.0	695	36.3	681	9.0	641	4.0	116.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	5,516,335株	2022年3月期	5,516,335株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,678株	2022年3月期	2,678株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	5,513,657株	2022年3月期3Q	5,513,688株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

2023年2月13日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス第7波・第8波による感染の再拡大はあったものの、個人消費は持ち直し、経済活動の正常化の動きが見られました。一方で、円安の進行や原油・原材料価格の高騰などを背景とした急激な物価上昇により、国内景気の下振れリスクが存在しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、お客様、従業員の安心・安全を第一に、引続き新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、店舗・教室、式場の運営に臨んでまいりました。

(和装事業)

和装事業におきましては、3年ぶりに緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの各種制限もなく、催事等も計画通りに開催することができ、受注も堅調に推移いたしました。11月には、“きものが持つ多様性”をテーマに第2回目となるきものコンテスト「Universal Kimono Award 2022」を開催するなど、きものが本来持っている価値や新たな魅力、可能性を発信してまいりました。また、受注獲得に向けた催事関連費用、教室生徒獲得に向けた募集費用などを積極的に投下し、お客様の獲得に努めてまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,733,543千円(前年同四半期比8.2%増)、セグメント利益は712,500千円(前年同四半期比42.7%増)となりました。

当第3四半期連結会計期間での納品が進んだことから、当第3四半期連結会計期間末の受注残高は、4,896,410千円(前年同四半期末比6.5%減)となっております。

(ウエディング事業)

ウエディング事業におきましては、国内では3年ぶりの緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの各種制限のない状況の中、来館客数も回復し、結婚式の受注、施行ともに好調に推移いたしました。一方、中国上海の子会社では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2022年3月28日から約2ヵ月間にわたり上海市政府によるロックダウンが行われた影響で、2022年4月から6月にかけては結婚式の受注、施行が行えない状況となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,578,595千円(前年同四半期比14.2%増)、セグメント利益は230,594千円(前年同四半期比140.8%増)となりました。

当第3四半期連結会計期間の施行が好調であったことから、当第3四半期連結会計期間末の受注残組数は、1,212組(前年同四半期末比2.3%減)となっております。

(全社)

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高14,312,139千円(前年同四半期比9.7%増)、営業利益418,690千円(前年同四半期比425.4%増)、経常利益412,543千円(前年同四半期比140.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益376,249千円(前年同四半期比187.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は18,688,094千円(前連結会計年度比2.7%増)となりました。

流動資産の残高は9,580,973千円(前連結会計年度比4.1%減)となりました。これは主に商品が91,898千円、レンタル商品が83,362千円、原材料及び貯蔵品が105,740千円増加した一方で、現金及び預金が399,780千円、売掛金が336,897千円減少したことによります。

固定資産の残高は9,107,120千円(前連結会計年度比10.9%増)となりました。これは主に建物及び構築物(純額)が871,471千円増加したことによります。

負債につきましては14,795,310千円(前連結会計年度比0.0%増)となりました。

流動負債の残高は12,327,163千円(前連結会計年度比3.2%減)となりました。これは主に未払金が181,693千円、前受金が176,627千円増加した一方で、短期借入金が780,000千円減少したことによります。

固定負債の残高は2,468,146千円(前連結会計年度比19.8%増)となりました。これは主に長期借入金が343,426千円増加したことによります。

純資産につきましては3,892,783千円(前連結会計年度比14.3%増)となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益376,249千円を計上したこと、配当金77,191千円を支払ったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました、2023年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,676,553	4,276,772
売掛金	997,300	660,402
商品	1,929,705	2,021,603
レンタル商品	1,321,078	1,404,441
仕掛品	530,760	615,770
原材料及び貯蔵品	93,382	199,122
その他	438,294	402,859
流動資産合計	9,987,075	9,580,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,738,966	5,610,437
土地	1,320,750	1,320,750
建設仮勘定	383,793	366,745
その他（純額）	220,990	256,516
有形固定資産合計	6,664,501	7,554,450
無形固定資産		
ソフトウェア	36,394	48,996
その他	52,966	78,503
無形固定資産合計	89,361	127,499
投資その他の資産		
投資有価証券	58,566	57,527
出資金	10	30
敷金及び保証金	1,278,143	1,251,438
繰延税金資産	92,887	94,152
その他	25,808	22,023
投資その他の資産合計	1,455,415	1,425,170
固定資産合計	8,209,277	9,107,120
資産合計	18,196,352	18,688,094

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	845,449	984,091
短期借入金	4,190,000	3,410,000
1年内返済予定の長期借入金	451,764	495,562
未払金	474,759	656,452
未払費用	316,469	334,944
未払法人税等	41,075	32,063
前受金	6,020,325	6,196,953
預り金	44,659	39,125
賞与引当金	1,650	—
その他	344,914	177,970
流動負債合計	12,731,068	12,327,163
固定負債		
長期借入金	768,929	1,112,355
資産除去債務	345,978	359,361
繰延税金負債	1,015	986
退職給付に係る負債	588,731	613,152
役員退職慰労引当金	15,607	—
その他	340,545	382,290
固定負債合計	2,060,807	2,468,146
負債合計	14,791,875	14,795,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,978,533	1,978,533
利益剰余金	1,370,505	1,669,563
自己株式	△17	△17
株主資本合計	3,399,020	3,698,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,506	32,467
為替換算調整勘定	△28,049	162,237
その他の包括利益累計額合計	5,456	194,704
純資産合計	3,404,476	3,892,783
負債純資産合計	18,196,352	18,688,094

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	13,052,237	14,312,139
売上原価	4,946,051	5,340,463
売上総利益	8,106,185	8,971,676
販売費及び一般管理費	8,026,492	8,552,985
営業利益	79,693	418,690
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,480	4,742
受取手数料	3,976	3,405
助成金収入	50,204	2,868
為替差益	36,254	—
その他	10,906	16,938
営業外収益合計	110,823	27,955
営業外費用		
支払利息	15,747	16,967
為替差損	—	12,321
その他	3,028	4,813
営業外費用合計	18,775	34,102
経常利益	171,741	412,543
特別利益		
固定資産売却益	—	45
特別利益合計	—	45
特別損失		
固定資産除却損	2,718	5,569
減損損失	42,970	—
特別損失合計	45,689	5,569
税金等調整前四半期純利益	126,051	407,019
法人税、住民税及び事業税	31,071	32,063
法人税等調整額	△35,816	△1,293
法人税等合計	△4,745	30,769
四半期純利益	130,796	376,249
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,796	376,249

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	130,796	376,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,012	△1,039
為替換算調整勘定	36,298	190,286
その他の包括利益合計	31,286	189,247
四半期包括利益	162,083	565,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,083	565,497
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,918,041	3,134,196	13,052,237	—	13,052,237
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,918,041	3,134,196	13,052,237	—	13,052,237
セグメント利益	499,263	95,750	595,013	△515,320	79,693

(注) 1. セグメント利益の調整額△515,320千円は本社管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに配分されていない全社資産のうち、東京本社移転の意思決定に伴い、東京本社事務所資産について減損損失を認識しております。当該減損損失の金額は当第3四半期連結累計期間において42,970千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,733,543	3,578,595	14,312,139	—	14,312,139
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,733,543	3,578,595	14,312,139	—	14,312,139
セグメント利益	712,500	230,594	943,094	△524,403	418,690

(注) 1. セグメント利益の調整額△524,403千円は本社管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。